

中部日本ニュース

シネスコ版

道新 16141 全道一の英雄楊成、十勝川 138頁 (本編トップ追加)
 高新 16242 本編同レ
 新報 1670
 日新 1683 播磨のクリスマス用品 79頁 (本編トップ追加)

No. 406 36.11. 3

一、巨人六年目の栄冠

——日本シリーズ

殺気をはらんだ今年の日本シリーズは、予想に反し巨人の三勝二敗、逆にカド、ばんを地元にもち帰った南海は背水の陣の第六戦。

二回表、宮本を塁上に王はバックスクリーンに叩きこむあっぱれな二ランホームすかさず南海もそのウラ野村がライトスタンドに叩きこみ、ついで八回には寺田もホームランを叩き出し同点。しかし、皆川、スタンカとスイッチした南海に対し、巨人も堀本、中村とつなぎ、三年ぶりという延長戦にもつれこんだ十回の表、巨人は、この日の当り屋坂崎の好運な中前ヒットで一点を追加巨人は川上新監督のもと、きめの細いプレーで力の南海を降し、六年ぶりに日本選手権を獲得しました。

一、"学力テスト"をめぐって

全国初の中学二、三年を対象にした文部省の一斉学力テストが十月二十六日行なわれました。

然し予想外に平穏だったのは不幸中の幸いとはいえ、宿命的ともいえる教育界の対立は、またしても社会的緊張をもたらしています。

そもそも学力テストとは一体なんのために行なうものでしょうか。文部省の言葉を借りれば、健康診断のようなものでその結果を教育改善の資料にするというのです。結構なその狙いがどうして問題になったか。国会の文教委員会がこの問題をとらえています。

つまり教育条件の改善にどうして指導要録に記入しなければならぬか。

その辺に本當の狙いがかくされているのではないかと疑問がもたれているのです。この数年の文教政策は、常に一貫して教育の実権を地方から中央に移してきたようです。

学力テストもそうした政策の一つではないかと日教組は反対に立上ったのです。この日岩手県の盛岡市では各学校毎にピケを張り、門前払いの作戦。教室では平常授業を強行するなど結局岩手県では九割がテストを拒否しました。

一方北海道の苫小牧では教育委員会の車をはさんで賛成反対の両派がにらみ合い。こうして波乱を呼びながらも全国的には九割がテストに参加しました。

然し学力テストのみならず、教育界にみながる敵意と疑惑が解消されない限り、文教行政は、常に不安と緊張をもたらすことでしょう。

688頁

4V1頁

237頁